最終レポートの書き方

　最終レポートは次の節を含む。

・表紙

・目次

・事業の要約

・竣工レポート

・育成管理計画

これはワードファイルで提出してもらうが、PDFファイルに変換してプロジェクト実習のホームページで公開・保管する。それぞれの節の仕様は以下の通り。

○表紙

・事業の名称、場所、年、クライアントの名前と所属

・事業地の写真一枚

・プロジェクトチームメンバー名と専門・所属

・「千葉大学大学院園芸学研究科緑地科学プロジェクト実習2010」

○目次

・レポートの校正

・図表リスト

・添付書類

○事業の要約

・事業名称、場所、年、施主の名前と所属

・事業ビフォア・アフターの写真と説明

・事業の要約（実施前の場、再生を必要とする問題、参照生態系、「目標」を含む問題解決のアプローチ、主な具体的達成事項（できるだけ数量を入れる）

・チームの写真（公開が同意できれば）

・謝辞（協力者や寄付者等に対して）

○竣工レポート（次ページ以降詳説）

○育成管理計画（前回詳説）

竣工レポートの書き方

これまで学んできたとおり、再生プロジェクトが完全にプラン通りに進むことはない。おそらくあなたは、プロジェクトを遂行するさい、当初描いた最終プランにいくつかの変更を加えてきたことだろう。竣工レポートはあなたの地域パートナーに、そのサイトで何がなされたかを示す明確な図であり、加えられた変化を説明するための参考書類である。

（１）教員のアドバイスに従って、最終ワークプランを修正しよう。これは竣工レポートの核となる部分だ。次に全体の書類づくりに進もう。付記を作り、プランと分けて、空いている箇所に書き込もう。修正した箇所は太字、色文字（赤以外が望ましい）で記入し、番号をつけよう（例：付記1、付記2など）。付記は短くすること。大事なことは、最初のプランと違っている部分はどこか、さらに重要なのはなぜ変更を加えたのかを説明することである。プランを変更するにあたり、だれがその決定を下したのか（地域パートナー、近所の人、チーム、インストラクター、地域組織、役所など）を記載すること。以下に例を示す。

目標１：イエスラークリーク沿いの水辺ゾーンに、プジェット湾低地に典型的な在来植生の成立と優占をはかる。

　目的1-1：クリーク沿いの外来植物種を除去し、発生を抑制する。

　　活動1-1a：群落の地上および地下にあるすべてのヒマラヤンブラックベリー*(Rubus armeniacus)*を除去する。

付記1:　*R*. *armeniacus*はポリゴンEの東ボーダー沿いの3メートル幅の緩衝帯を残してすべて除去した。一部を残した理由は、オオアオサギの営巣を阻害しないようにというシアトルオーデュボン（鳥類保全NPO）の要請があったためである。

（２）教員の助言に従い、３つのサイトマップ（プロジェクト実施前の状態、基盤整備、植栽計画）を修正すること。4つ目の地図、つまり竣工図―実際どんなことを行ったかを明確に示したもの―を作成しよう。竣工図は植生計画の改定版であり、自然環境の特徴や、目印、通路、その他の改良点を盛り込もう。さらにプロジェクト実施中に発見した場の特徴も記入しよう（地下水路、巣、倒木、繊維くず、廃車、死がい、取り残した在来植物、LWDなど）。竣工図にはサイトとポリゴンの修正後の面積とともに、プロジェクト実施後の種の変化や、植生の密度と位置の変化も記入する必要がある。実際行った仕事の面積が当初予定よりも拡大、もしくは縮小、さらに（または）場所が変わったりした場合は、最初の植生プラン図と関連させて、それらがわかるように示そう。竣工図の訂正箇所はワークプラン本文の付記に記載すること。

（３）教員の助言に従い、仕事に用いた材料と植物に関するテーブルを修正しよう。材料の量や種類に変更があった場合や、用いた植物の数や植物種が当初の予定と変わった場合は、もともとの情報を横線で消して、実際に行った作業情報を書き入れること。修正した字体は太字で、付記と同じ色とすること。単にその作業をやめてしまい、代わりに何もしなかった場合は、取りやめた項目を横線で消しておくこと。追加項目がある場合は、新しい列を作ること。以下に例を示す。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 材料 | qty | 入手先 | 道具 | 数 | 入手先 |
| Task 1-1a | ~~段ボール~~ **ジュート布** | 100m2 | 酒店　**Stuebers** | 刈り込みばさみ | 5 | 公園事務所 |
| 　 | ウッドチップ | 10m2 | 地元の職人 | ショベル | 10 | 同上 |
| 　 | **除草剤** | **２０L** | **Sterbers** | くわ | 10 | 同上 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 手袋 | 10 | 同上 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | **背負い散布機** | **1** | **同上** |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| Task 1-1b | 段ボール | 65m2 | 酒店 | 草刈り機 | 1 | 公園事務所 |
| 　 | ウッドチップ | 5m2 | 地元の職人 | レーキ | 5 | 同上 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | *~~Cornus sericea~~****Salix lucida*** | *Thuja plicate* |
| 　 | 数 | 形状 | 寸法 | 数 | 形状 | 寸法 |
| ポリゴン１ | 25 | 挿し木 | 1m | ~~10~~　5 | ポット苗 | 2m |
| ポリゴン2 | 　 | 　 | 　 | ~~15~~　10 | 露地苗 | 3m |
| ポリゴン3 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ポリゴン4 | 50 | 挿し木 | 1m | 　 | 　 | 　 |

変更が加えられたことについて、なぜ変更が生じたのか、そして新しい材料や種など利用することがゴールや目的にかなった理由を、本文のどこかに必ず入れること。変更に関する記述はゴールまたは目的のセクションで言及されているはずだが、もしそれらの記述がない場合は、表の下に何らかの説明を書き加えるべきである。

（４）予定していた作業スケジュールと比較し、実際の作業時間を修正すること。実際の作業時間を週単位で示すのが望ましい。

（５）追加の図や写真があれば付表として加えること。